

令和４年度地域づくり事業実績報告

【令和４年度（２年目）】

団体名	那須温泉民宿旅館組合	代表者	阿久津勝典
事業名	湯本鹿の湯通り賑わい創出事業	事業費	1,006,228
		交付金	600,000

（１）地域の現状と課題

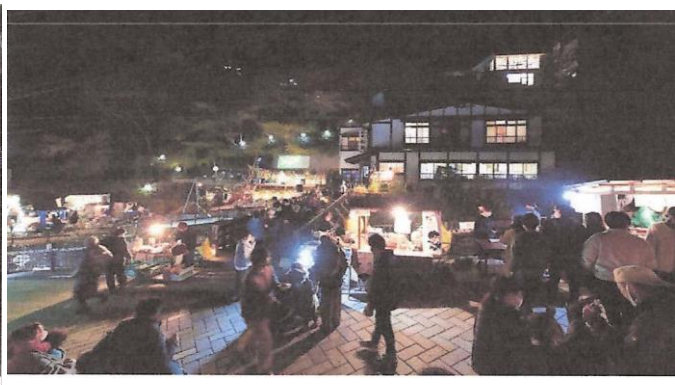
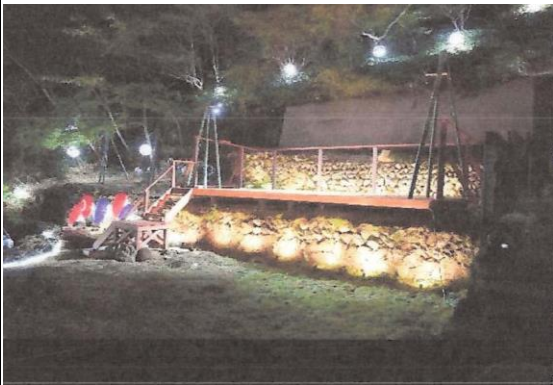
那須エリアの観光の中心が広谷地区（湯本地区の南側）に移っていることから、湯本地区での観光客、宿泊客が減少している。民宿業は衰退の一途をたどり、事業者の高齢化、施設の老朽化など民宿街を取り巻く環境は厳しい状況にある。那須温泉の象徴的な鹿の湯通りに賑わいを取り戻し、民宿街を維持、魅力を発信してイメージアップを図る必要がある。

（２）事業目的

鹿の湯通りを取り巻く厳しい現状を開き、民宿街を魅力あるものにしていくことで湯本地区の集客と各民宿の活性化につなげる。主体的な地域づくりのための研究、活動を推進し、総合的な観光振興及び地域の活性化及び組合員の相互扶助を図る。

（３）事業概要

- ①イベントの中心となるようなステージを組合員で自主施工。
（那須高原に古くから伝わる伝統芸：九尾の狐太鼓等の披露の場の整備）
- ②施工の有効性の確認作業、設計の見直し作業を行い、次年度の活動を協議。



◆事業の成果や効果◆

昨年度に引き続き民宿街をライトアップする「宵の散策」を実施しました。民宿街の中心にステージを作りライトアップすることで更なる賑わいの創出が生まれました。イベントでは、那須町在住の音楽家が出演したことで、文化的向上にもつながり、また、那須高原に古くから伝わる伝統芸である九尾の狐太鼓などが行われ、多くの観光客で賑わいました。イベント6日間の経済的効果も大きく、今後の発展の足掛かりにもなると思いました。

昨年に引き続きこの事業実施により、民宿組合員が大きな自信と将来の希望を持てたことが大きな成果です。

令和4年度地域づくり事業実績報告

【令和4年度（1年目）】

団体名	那須こども食堂 ザ・テーブル	代表者	滝谷 昭勝
事業名	那須こども食堂 ザ・テーブル	事業費	1,634,024
		交付金	800,000

（１）地域の現状と課題

核家族、ひとり親家庭の増加、地域の遊び場や交流機会の減少、所得格差等が子どもの成長に大きな影響を与えており、核家族、ひとり親家庭の増加、所得格差のほか、地域の遊び場や交流機会の減少等が子どもの成長に大きな影響を与えており、子どもの健全育成や貧困対策の必要がある。

（２）事業目的

子ども食堂を開設することにより、親の貧困の連鎖を断ち切り、一人でも安心して来所し、食事や勉強、遊びの他、家族以外の人たちと交流することにより、自己肯定などの成長及び楽しく過ごせる居場所を提供することを目的とする。

（３）事業概要

- ・子ども食堂の開設：開設当初は毎月2回（第2・第4日曜日）開設し、最終的には月4回を目指す。イベント等の開催は年5回実施。
- ・開設時間：10：00～14：30
- ・提供食数：15～20人
- ・料金：子ども100円、大人（同伴者300円、その他500円）
- ・対象者：子ども、子どもの親、他誰でも自由に来所できる。
- ・イベントは利用者のほか、こども食堂を広くPRするため誰でも参加できる形式とした。

4月にオープニングイベントを実施し、春・夏・秋・冬イベントとクリスマスイベントの計5回を実施した。

バザーやチャリティコンサート、那須中学校の生徒との交流、夏は農業体験の後、バーベキューやキャンプを実施した。



◆事業の成果や効果◆

町内になかったこども食堂が開設できたことで、食堂を訪れる子供たちに栄養バランスが整った食事を提供することができました。また、他の子供たちと一緒に遊んだり楽しい時間を過ごすことができるようになりました。

加えて、子育てする保護者（母親）の方が、やすらぐことができる場所となったと感じています。経済的やその他の問題を抱えている家庭の子供たちに限らず、子供なら誰でも受け入れることを方針として実施しています。特に水曜日の開催時は、たくさんの方が訪れています。

令和4年度地域づくり事業実績報告

【令和4年度（1年目）】

団体名	高久第6自治会	代表者	竹原 亜生
事業名	高久第6自治会公民館事業	事業費	1,428,859
		交付金	800,000

（1）地域の現状と課題

人口減少や高齢化により、住民の相互扶助的な活動が難しくなっている地区が増加しているため、地域間の繋がりの希薄化に加え、地域での支え合いが難しくなっている。地域住民が気軽に集える場を設け、地域の結びつきを強化する必要がある。

（2）事業目的

公民館を地域住民が気軽に集える交流拠点とし、地域のつながりを再構築するため、公民館に幅広い機能を持たせることで、地域住民が様々な形で地域活動に参加できるようにし、交流の機会を創り出す。

（3）事業概要

- ・3月まで保育園として使用していた建物を6月より町から借用し、公民館として使用開始。
- ・上記施設を多目的室、食堂、カフェ、農産物直売所、子どもが勉強や遊びで使える部屋として整備した。
- ・敷地内で駐車場を整備（区割り設置）、また食堂用椅子を自主制作し設置した。
- ・7月、オープニングイベントを開催した。
- ・8月～食堂、直売所不定期に開催した。
- ・10月～食堂、直売所定期に開催した。
- ・1月～カフェ事業、子ども食堂・サロン事業を開始した。



◆事業の成果や効果◆

高久第6自治会公民館事業活動を通じて、地域の連携が深まりつつあります。
また、新高久、筒地、西愛宕の地区間の交流も増え、自治会が一体化しつつある。
オレンジカフェ、ケアラズカフェ、健康マージャン教室、椅子ヨガなど、高齢者が集える催しも参加者が増加してきています。
子供向けには、にじいろほっとteatime（親子が集い、子育ての相談などを行っている）、土日の開放日、各種イベントを行い、多くの子供に楽しんでいただいています。
子育てする保護者には、子育てお話会、性教育のお話会なども継続して行っており、保護者の不安解消につながっています。
利用者が増えてきており、高久第6自治会公民館事業を持続するための経済基盤づくりが軌道に乗り出した状況です。